

毎年、火災原因の上位に挙げられる『たばこ』。

ちょっとした油断で火災になってしまうため、気をつけたいところです。

一言で『たばこ』による火災と言っても要因は様々です。

『たばこ』による火災を防ぐポイントを見てみましょう。

灰皿に水を張り、吸殻をためない。

灰皿に水を張り、確実に火を消しましょう。

吸殻をためておくと消しきれなかったたばこの火種に燃え移り、火災になる場合がありますので注意して下さい。

また、カップ麺の容器など、灰皿以外のものを灰皿代わりに使わないようにしましょう。

たばこ火災急増中!!



自分は大丈夫!

と、思っていないか…?



・灰皿には水を入れる!

・吸い殻は確実に火を消してから捨てる!

ポイ捨て厳禁!



歩きたばこ、ポイ捨てによって可燃物に燃え移り火災になることがあります。

また、山火事の原因になることもあります。

特に、空気が乾燥している時期は、注意が必要です。

決まった喫煙所で喫煙するよう心がけてください。

寝たばこは絶対ダメ

布団などの素材は、たばこの火種でも着火しやすく、

火のついたまま寝てしまうのは大変危険です。

特に泥酔しているときなど、注意が必要です。



火災の早期発見! 住宅用火災警報器を設置しましょう。

どれだけ注意していても、火災は起こってしまうものです。家族の命と大切な財産をまもるため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

※すでに設置してある住宅用火災警報器も機器の老朽化とともに正常に作動しなくなります。

10年を目安に新しいものと交換しましょう。

また、点検ボタンを押すなどして作動確認をしてみましょう。

